

2003年5月1日

「新しく市会議員・県会議員に当選された皆様へ」

- 議員調査権の大活用を -

開倫塾 塾長 林 明夫

1. はじめに

4月の選挙で新しく足利市議会議員・栃木県議会議員にご当選を果たされた皆様、当選おめでとうございます。足利市民・栃木県民の代表として足利市議会・栃木県議会でご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。有権者の一人として、また、少ないながらも納税をさせて頂いている納税者の一人として、皆様に期待している事を述べさせていただきます。

2. デフレと大株安・大不況に即応した具体的取り組みを

デフレに加え、毎日のように株価が下がり、SARSの影響もあって「大不況」の様相を呈しているのが日本経済、地方経済の実情であります。向こうから大きな津波が来るのが見えており、波をザブツとかぶる前にどのような方法でも丘の中腹にまでたどり着きたいというのが、市民の実感ではないかと思えます。ぜひ、新しく議員になられた皆様におかれましては、このような厳しい現実をふまえた議員活動をなさって頂きたいと希望します。

地方であると政治とは、限られた財源の配分をどのようにするかを考えることだと私は思います。税収がどのようになっているのか、支出はどのようになっているのかできるだけ正確に認識して頂きたいと希望します。予算の使い方がはたして良かったのかどうかを考えるのが「決算」であります。まずは御自分の関心のある分野だけでもいいですからどうか一万円単位で、予算の使われ方を議員として徹底的に調査をしていただきたく希望します。そのために与えられているのが「議員調査権」です。市や県の税金が予算として使われている「現場」に直接出かけて行って、議員としての調査を実行することを希望します。(ただし、議員だからといって「えぼる」ことはお避けください。調査される側にも人間としての誇りや尊厳があることをお忘れなく)

少なくなりつつある税収をどのような優先順位で配分するかが「予算」づくりです。来年度の予算をどうするか、ゴールデンウィークも終わることですし、御自分のお考えを「政策」として取りまとめ本会議や、委員会の場で積極的にご発表ください。発表に際しては現状がどうなのかを正確に認識する必要があります。そのために議員に与えられているのが、「議員調査権」であります。有権者、納税者の立場で予算の最適配分をお願い致します。

3 . 終わりに - 規制改革・民営化の研究を -

「地方でできることは地方で」「民間でできることは民間で」との小泉首相の方針のもと、大幅な地方分権や規制改革、最終的には民営化が国を挙げてすすめられています。議員の皆様は、市役所や県庁の優秀な公務員の皆様以上熱心にこれらのテーマを研究なさり、本格的な取り組みをお願いします。

民間の経営手法で行政経営をすることが強く求められていますので、議員の皆様の経営能力の育成も急務です。

但し、「命あってのものだね」です。どうかお体だけはお気を付けいただき、選挙活動でお世話になった方々、有権者、納税者のためご活躍下さい。

以上
5月1日記